

各位

タツタ電線株式会社

《コト売りへの挑戦！》

分散・混練技術を活かした

分散ソリューション提供サービス「マゼラボ」を開始

タツタ電線株式会社（本社：大阪府東大阪市岩田町、代表取締役社長執行役員 山田宏也、以下、当社）は、サステナブル経営に向け、既存事業の強化に加え、新たな事業の育成を目指し、オープンイノベーションに取り組んでいます。

この度、当社の導電性ペーストのコア技術である「分散・混練」技術を活かし、分散ソリューション提供サービス「マゼラボ」を開始しました。

「マゼラボ」は、顧客の機能性材料開発における課題解決に焦点をあて、「コンサルテーション～開発～製造」を一気通貫で、顧客のニーズにあわせソリューション提供することをコンセプトとしたサービスです。コンサルテーションにおいては、関西大学 環境都市工学部 山本秀樹教授がもつ凝集エネルギー密度※による評価法の知見を取り入れ、これまで勘や経験に頼る部分が大きかった材料の配合・分散に科学的なアプローチを適用することで、顧客の開発期間短縮、製品特性向上に貢献します。また、当社が保有する分散・混練技術ノウハウ、量産技術・保有設備等のリソースを結集させ受託開発・製造にも対応し、事業化を目指します。

関西大学イノベーション創生センター内に開設したラボを産学連携による当社の新規事業創出の拠点とし、山本秀樹教授の研究成果の実用化、サービスの拡充に取り組み、難分散の材料開発に課題を持つ企業の幅広いニーズに対応してまいります。

■分散ソリューション提供サービス：「マゼラボ」概要■

- ・ 溶媒中の微粒子分散性評価（凝集エネルギー密度※）
- ・ 受託開発（配合最適化・表面処理他）
- ・ 受託製造（難分散材の混練）
- ・ スケールアップ検討サービス（少量・中量生産）

当社及び協業先の量産設備を使用した少量・中量生産にも対応します。

※凝集エネルギー密度（Cohesive Energy Density：CED）：

単位体積当たりの凝集エネルギー密度を表す物性値であり、物質間の相溶性・微粒子の溶媒中の分散性の評価に使うことが出来る。

関西大学 環境都市工学部 山本秀樹教授は本件に関する多数の学術論文および特許を発表している。

以上

本件に関するお問い合わせ先：タツタ電線株式会社 マゼラボプロジェクト
TEL: 06-6721-3011, Mail: amaze-lab@tatsuta.com

関西大学イノベーション創生センター内にラボを設立のリリース：

https://www.tatsuta.co.jp/ir_info/document/pdf/news_japanese_20240328_6604f957cee8c.pdf